

第1回懇話会での各委員意見概要

資料2

発言者	内容・項目	委員意見等	大阪府の認識（対応）
若井委員	災害医療コーディネーター（歯科）の配置	大阪府歯科医師会のみの委嘱か。	災害医療コーディネーターの業務として地域歯科医療の対応、J D A Tの編成及び、歯科医師会との調整等が必要と認識。現在、大阪府歯科医師会の先生方3名委嘱しているが、将来の大規模災害に備え、コーディネーターの出務体制の拡充について検討が必要との認識。
中久木委員	患者の受け入れについて	歯科診療所が稼働できない場合、患者の受け入れ等、病院で対応することも必要ではないか。	災害時の傷病者対応についての議論について、大学病院や病院歯科と調整が必要との認識。
前川委員	被災地での歯科技工物について	被災地からのデータを元に遠隔地から必要な歯科技工物を作成、発送できる体制があるとよい。	現在、歯科技工物の作成についてはデータのみでの完遂は難しく、最終的に人為的な対応が行われているという認識。 今後、技術的にクリアでき、国でそのような方針が出ることを期待。
山口委員 高橋委員 杉立委員	人材育成について	・災害対応可能な歯科衛生士の養成を続けていきたい。 ・学生の頃から災害に関する学びも必要。 ・多くの病院歯科では災害訓練がないと思われるので、スキルアップが必要。	必要性について同様の認識。
若井委員	通信機器整備について	通信はスターリンクが使い勝手が良い。ネット通信もできる。	スターリンクの使い勝手や利便性が良いことは認識しているものの、現在、法人契約はビジネスプランのみ確認できている状況。 国内での個人プランはau、コストコ、X等で契約できるが、コストコとXはオンラインでクレジット契約のみ、auは店頭で現金ないし、クレジット契約で、個人名での契約は法人格の歯科医師会として困難。 →インマルサット対応となる。
若井委員	E M I S 登録状況	両大学病院もEMISの登録が未だであれば登録をお願いしたい。	災害時のE M I S 登録情報はD M A T 隊の活動にも有用。 登録済みであることを確認。
若井委員	歯科医師会の会員の安否確認について	安否確認は、地区歯科医師会から問題があった場合にボトムアップで連絡することが合理的。本会が聞いて回ると時間がかかる。	歯科医師会内における安否確認の方法、システムについては今後、議論が必要との認識。
久保庭委員 高橋委員	大学の役割分担について	大学と歯科医師会等との連携、役割分担の整理をしていきたい。	J D A T の派遣や患者の応需対応等について今後議論が必要との認識。